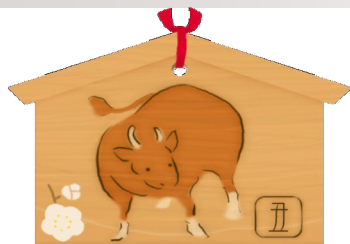


## 山雲水月

発行責任者 仁叟寺 住職 渡辺啓司



## 謹賀新年

平成21年  
仁叟寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈禱・年賀受  
1/4~1/7 年始挨拶  
1/10 年賀寺例  
2/3 大節分会  
2/15 釈尊涅槃会  
3/8 大般若・大施食会法要  
3月中旬 筆供養法要  
3/17~3/23 春季彼岸会  
4/8 釈尊降誕会(花祭り)  
7/13~7/16  
京浜地区檀信徒棚経  
7月下旬  
第28回子供禪の集い  
8/10 中元寺例  
8/13~8/16 孟蘭盆会  
9/20~9/26 秋季彼岸会  
10/17 檀信徒参拝研修旅行  
12/8 釈尊成道会  
12/10 歳暮寺例  
12/31 除夜会  
※毎週土・日曜日 書道教室  
※毎週水曜日 定例坐禅会  
※隔週水曜日  
梅花講・琴教室・華道教室  
※宗務所執務日は月水金曜

## 平成21年己丑 住職年頭挨拶

## 絆(きずな)

火葬場での最後のお別れの場面で住職として様々な思いをもって共に過ごします。ある女性が、花に飾られた棺の中の母親の顔をさすりながら、「生んでくれてありがとう。お母さんの子供で良かったよ。今まで感謝してます。お母さんみたいに幸せになるから見守っていてね。」とかみしめるよう語り掛けていました。この短い言葉に込められた万感の心情。何にも代えられない親子の心の「絆」を深く感じた。決して特別に裕福な家ではないが、家族も親戚も皆心が素直純粋、優しい方ばかりである。従って、自然に周りの人々にも心優しい人が多い。思いやりと愛情に溢れた毎日、変わらない日暮しが出来たなら、それこそが真の豊かな人生そのものであると確信します。

政治の混乱、経済の激変と不安。そして、その根っこにある宗教文化教育、学校教育、家庭教育の著しい喪失感。こうした厳しい現状の中で、既にご承知の通り、仁叟寺では本年より特に時間を掛けて、町指定重要文化財のほとけ様(仏像)の修復事業を寺・檀信徒・ご縁のある多くの皆様と、一致協力して、取り組んで参る予定です。

既に今までに、供養施主の善意により六体のほとけ様(仏像)が修復を終えて、蘇りました。本年はいよいよ五百年間本堂に鎮座し、多くの人々を永い間見守り、やすらぎを与えてきた当寺信仰の原点であるご本尊釈迦如来ほかの修復に取りかかります。大勢の人々の願いのこもった本尊様であります。この修復は世の中を救う一条の光明となると信じます。皆様方のご協力とご慈愛を、切に願い、各家の家門繁栄・子孫長久・諸災消除・万福多幸を祈念申し上げます。



仁叟寺本尊釈迦如来像

かねこあきら

## 金子明 総代長退任挨拶



金子明前総代長

この度、健康上の理由により、長年に亘ってお世話になりました総代長責任役員を辞任させていただくこととなりました。

篤く三宝を敬い、住職様を中心に和合に務められた役員ならびに檀信徒の皆様様の温かいご理解とご協力を賜り、恙無くその大役を果たすことが出来ましたことは、誠に有難く、心から感謝申し上げます。

思えば私達にとっての仁叟寺は、歴史と伝統に輝く堅実無比の名刹であり、ご先祖様との固い絆で結ばれた心の故郷であります。また、複雑多様な現代社会に生きる我々にとって、お釈迦様の説く大慈大悲の生き方を学ぶ道場でもあり、日常生活に於ける心の支えそのものであります。

それ故にこそ、更なる法燈の隆盛発展を切望し、今後とも檀信徒皆様様の益々のお力添えを念願せずにはられません。

以上、誠に略文ではありますが、今後も体調回復を図りつつ総代人として微力を尽くしますが、これをもちまして総代長責任役員辞任の挨拶にかえさせていただきます。

いのうえまさとし

## 井上正俊 総代長就任挨拶



井上正俊新総代長

この度、総代長であった金子明氏が体調を崩され辞職されたことに伴い、総代会に於いて後任に推挙されました。勿論、多角的に推量し、その器でありませぬので、強くご辞退申し上げましたが、このような結果になり、その責任の重さに困惑いたしております。本より小中学校等に定年まで凡々と勤めて居り、浅学非才で世間知らずの典型であります。

菩提寺も漸く仏像等の修復が皆様のご理解ご協力が進められているようにしている矢先であります。年月も少々掛かる大事業であります。このような重大な時期であります

ですので、檀信徒の皆様と共に協力しながら、取り組んでいかなければならないと考えております。

檀信徒諸氏の温かいご厚情にすがりながら、護持活動に取り組んでいく所存でありますので、一層のご指導ご鞭撻をお願いし、ご挨拶といたします。



こうえん

# 渡辺晃苑書業四十五周年記念個展開催

昨年11月20日～30日に掛けて、前住職渡辺隆司東堂夫人の渡辺テル（号、晃苑）の書展が、多胡碑記念館（矢島正義館長）で開催されました。書道に出会い、45周年を記念し、開催された初の個展であり、多数の方々が参観して下さいました。また併せて自身の主宰する仁叟寺書道教室「雅道会」の12人の門人展も開催。檀家でもある書家金澤子卿高崎書道会長に師事し、今回の書展では同じく檀家で元群馬大学教授の画家町田洋二先生と共に賛助作品も出展して下さいました。

書家としても、県展の第一席を獲得し、吉井町書道協会の初代会長を歴任。85歳になる現在も、仁叟寺にて書道教室「雅道会」を主宰し、後進の指導に当たっております。

## HPが新しくなりました



←新ホームページ(上)と旧ホームページ(下)

→東堂夫妻  
↓上毛新聞に記事が掲載されました



仁叟寺HP（ホームページ）が新しくなりました。新しいページにはフラッシュ機能もあり、開くと仁叟寺大梵鐘が鳴る設定になっております。ほか、PDF形式にて今までの当寺報「山雲水月」が閲覧出来るようになっております。副住職の運営するブログ「山雲水月」ともリンクしており、当寺に伝わる開運御籤もありますので、運試しも含めご高覧いただきたく存じます。

なお、旧HPも今まで同様、閲覧可能です。それぞれのアドレスは以下の通りです。

仁叟寺HP（新）<http://jinsouji.net/>  
（旧）<http://www7.wind.ne.jp/jinsouji/>

## 各種参禅研修会報告

昨年も仁叟寺では個人団体による参禅会が開催されました。昨年の主だった団体による参禅研修会を右の通りご報告申し上げます。参禅研修を考えている学校会社など団体組織がございましたら、当寺までお問い合わせ下さい。

なお、定例坐禅会は毎週水曜日午後7時から修行しております。関心のある方は、是非一度足をお運びいただければと

Page 3 思います。

日時	団体名	人数
元旦	年越し坐禅会	10名
1月20日	藤岡東中学校野球部	30名
4月7日	サンコーグループ	50名
6月7～8日	高崎経済大学武井ゼミ	10名
6月21～22日	群馬県曹洞宗青年会緑蔭禅の集い	75名
7月28～29日	第27回仁叟寺子供禅の集い	45名
9月12～13日	第一テクノ株式会社	25名
9月18～19日	東洋大学仏教会及び仏教青年会	15名
11月6日	東京農業大学第二高等学校講師会	25名

## 【特別寄稿】 東毛の名刹を訪ねて 堀越兼一



筆者の堀越兼一氏ご夫妻

第一回目より参加している参拝研修旅行。今回は東毛の名刹寺院を廻る企画。

最初に星野富弘美術館を見学。新しいホールになってから初めてです。いつ来ても感動の画と文章です。

次は桐生の大雄院。西毛の仁叟寺、東毛の大雄院と云われることが実感させられる荘厳な寺院でした。本堂もまだ新しく、三共の毒島会長が中心となり特別寄進で大改修を行った諸堂宇は目を見張るものがありました。副住職様が、客殿・庫裡のほか夏に完成した三重塔をご案内して下さいました。

次の目的地は館林の茂林寺。門前の食堂「もり陣」で昼食。名物の館林うどんを、女将さんの説明を聞きながら美味しく頂きました。茂林寺では、住職様から茶釜の歴史にまつわるお話を、お茶を頂きながら聞くことが出来ました。

茂林寺を後にし、その末寺にあたり、かつまた仁叟寺東堂の生家でもある宗龍寺へと移動。茂林寺とは田圃を隔てたすぐに所在しておりました。午後二時半頃に到着。参拝後に若い住職様より寺院の歴史や東堂様との関係を伺いました。本堂前にて記念撮影をし、最後の目的地である永明寺へ。

永明寺は住職様が現在、曹洞宗群馬県宗務所長を務めておられます。歴史のあるお寺で、住職様より寺院の歴史や境内の国指定天然記念物・キンモクセイについてのお話を聞くことが出来ました。

今回は各寺院でご住職様よりお寺の特色についてのお話を聞くことが出来ました。私見ですが、大雄院は「夢」、茂林寺は「福」、宗龍寺は「仁叟寺東堂生家」、永明寺は「緑」と違った特色を感じました。我らが仁叟寺は、文殊菩薩の開運厄除・学業成就の「知」という特色を活かしていただきたいと思いました。

毎年十月第三土曜日に参拝研修旅行を企画して下さいする住職様及び総代様方に感謝します。農作業が一日遅れましたが、寺院参拝で心のやすらぎと知的な収穫が今回も出来ました。ありがとうございました。



永明寺さまに於いて記念集合写真

## 行雲流水（編集後記）

編集人 副住職 渡辺龍道

明けましておめでとうございます。昨年を象徴する漢字は「変」であったそうですが、皆様にかかれましては様々な事があったことと推察いたします。

さて、仁叟寺報「山雲水月」も今号で第24号となりました。パソコンの故障などで創刊号及び第2号が手許にありませんので、もし保管していらっしゃる方がおられましたら、当寺までご一報いただければ幸いです。

住職地龍源寺のほか宗務所執務もあり、昨年に引き続きバタバタとしております。出来ることはしっかりと務めさせていただこうと思っておりますので、何卒、本年も宜しくお願ひ申し上げます。合掌

